

剣ガ峰付近(9月20日、北西方向から撮影)



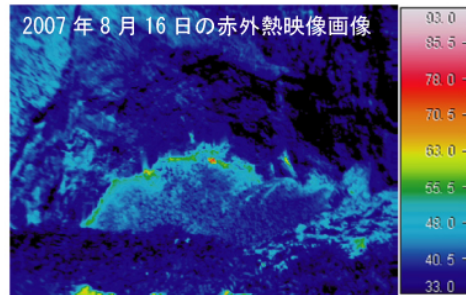
山頂部(9月25日、北西外輪遠望カメラによる)

図1 伊豆大島 三原山山頂火口内及び山頂部の状況

2007年8月16日の火口内壁の画像



2007年8月16日の赤外熱映像画像



2007年9月20日の火口内壁の画像



2007年9月20日の赤外熱映像画像

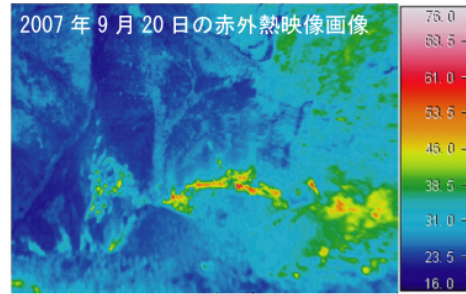


図2 伊豆大島 中央火口北側内壁の状況(左)と地表面温度分布¹⁾(右)
(左の写真の白枠部分が右の赤外熱映像撮影部分)

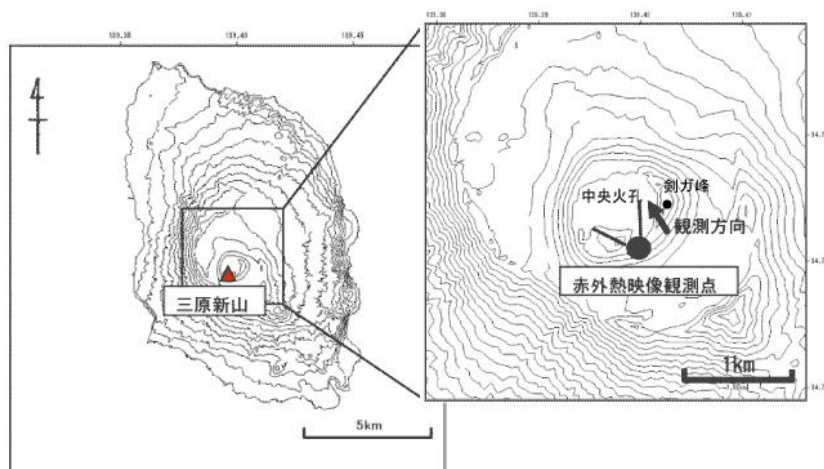


図3 伊豆大島 中央火口内の地表面温度分布¹⁾を測定した位置

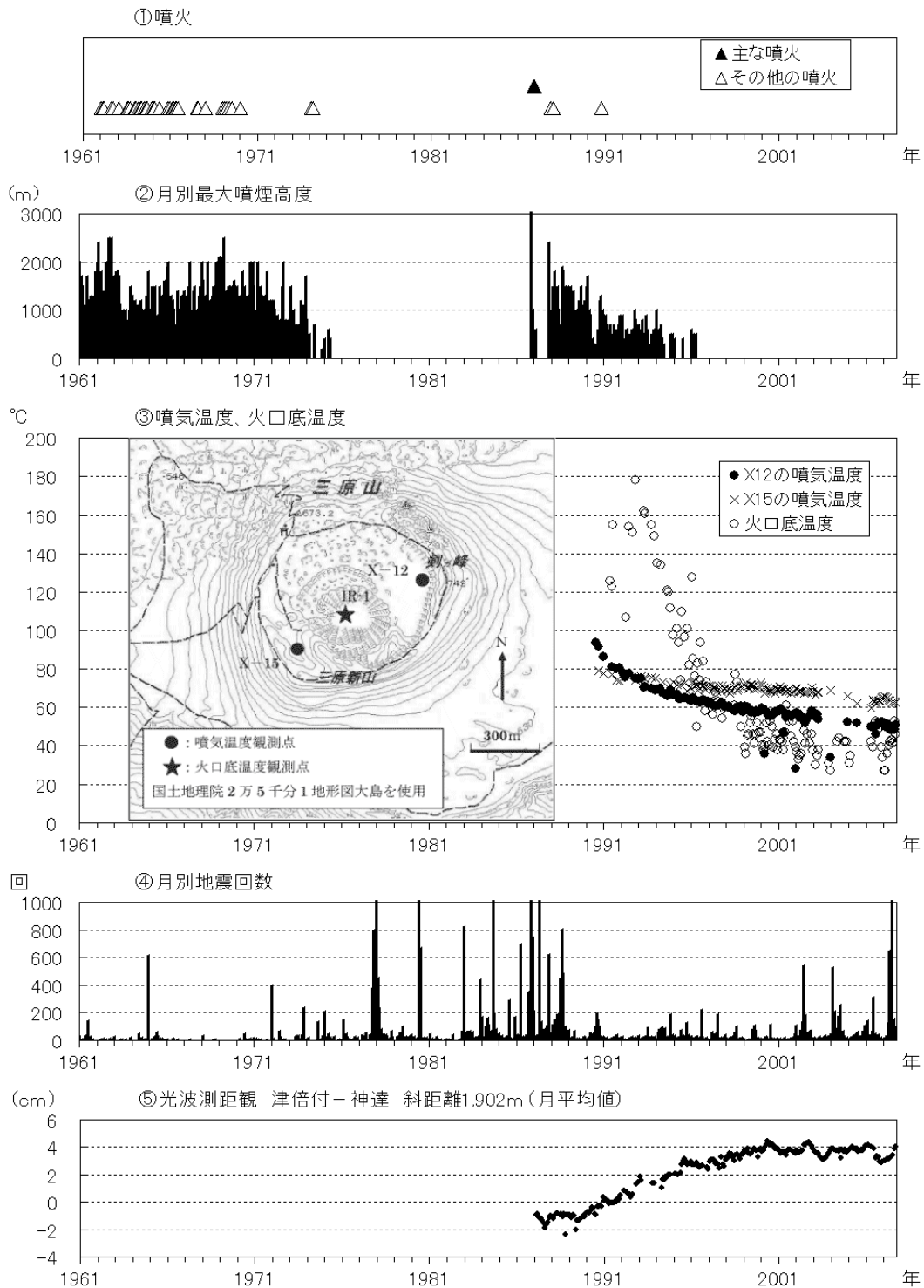


図4 伊豆大島 長期間の火山活動経過図（1961年1月～2007年9月）

- ②大島測候所から観測を行っていた時期には外輪山の陰になる影響で観測できる噴煙高度が異なり、1991年12月18日までは火口縁上130m以上、2002年2月28日までは火口縁上300m以上でした。
- ③火口底温度（IR-1）は赤外放射温度計¹⁾を用いて離れた場所（図3赤外熱映像観測点と同じ）から測定した値。噴気温度（X-12、X-15）はサーミスタ温度計⁵⁾を用いて直接測定した値。
- ④地震回数には伊豆大島周辺に発生した地震も含まれています。
- ⑤光波距離計³⁾による月平均値（観測開始は1987年1月）。

5) 半導体の電気抵抗が温度変化する性質を利用して温度を測定する測器。

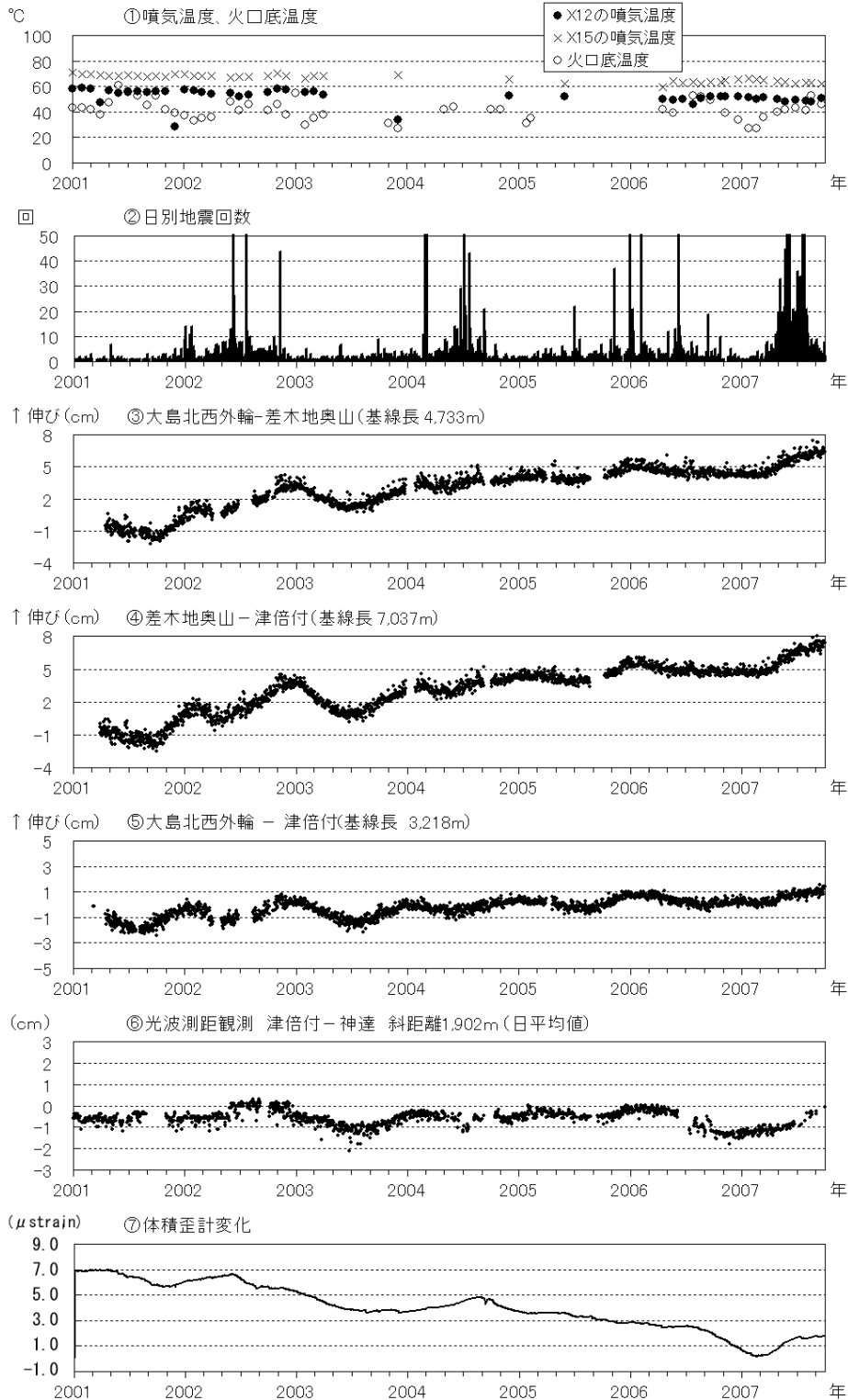


図5 伊豆大島 最近の火山活動経過図 (2001年1月～2007年9月)

- ①火口底温度 (IR-1) は赤外放射温度計¹⁾を用いて離れた場所 (図3赤外熱映像観測点と同じ) から測定した値。噴気温度 (X-12、X-15) はサーミスタ温度計⁵⁾を用いて直接測定した値。
- ③④⑤GPS連続観測による日平均値 (観測開始は2001年3月7日)。③～⑤は図7のGPS基線③～⑤に対応。
- ⑥光波距離計³⁾による日平均値。 ⑦^{ひずみ}体積歪計⁴⁾による日平均値。

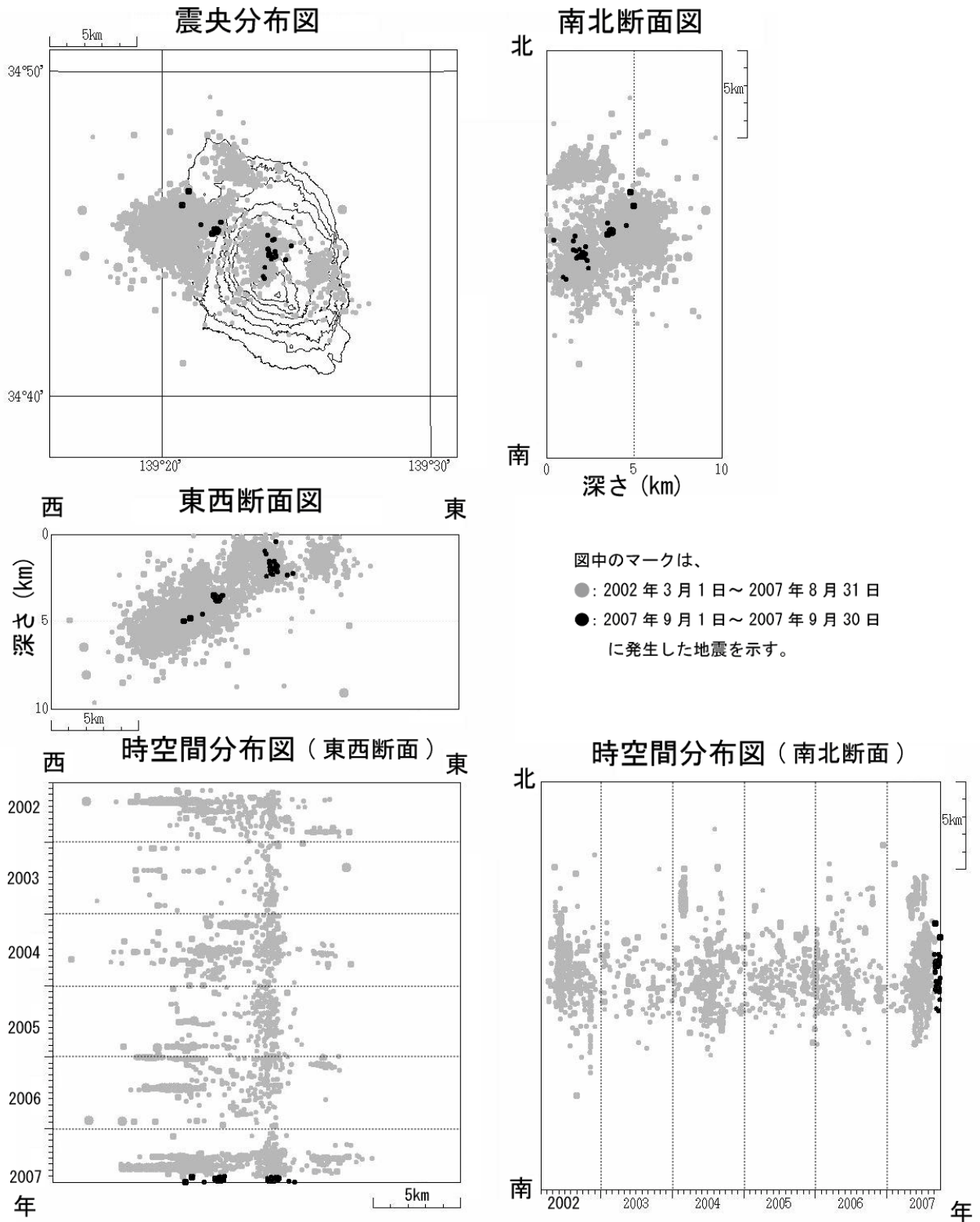


図6※ 伊豆大島 震源分布図（2002年3月1日～2007年9月30日）

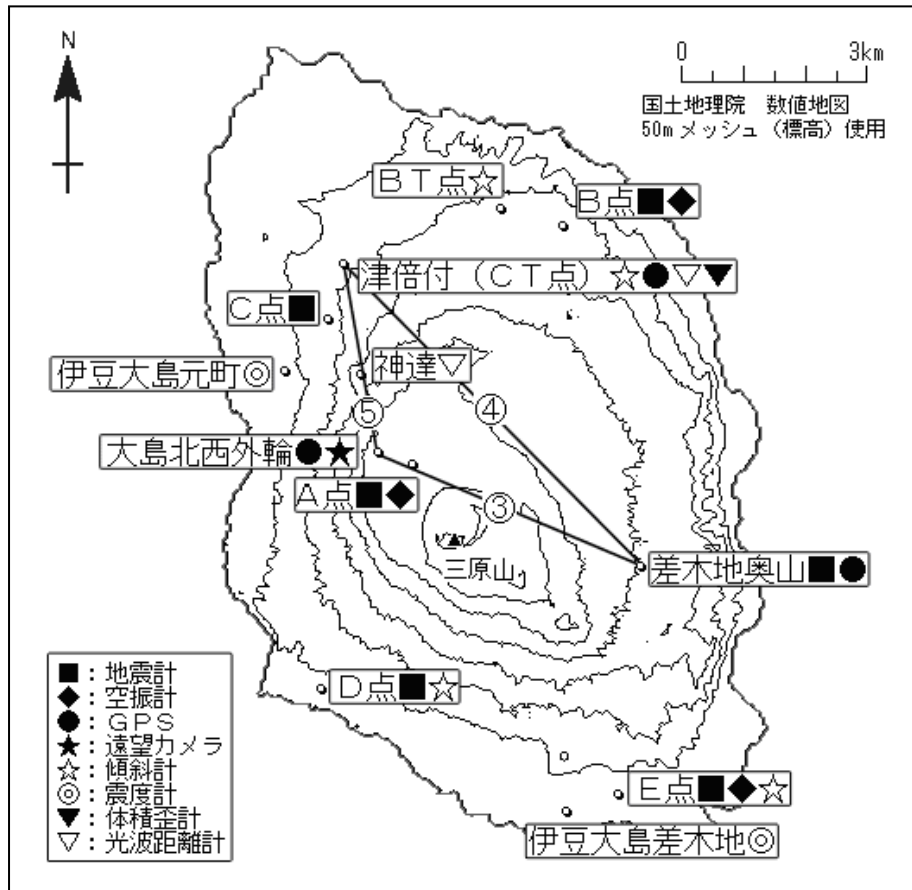


図7 伊豆大島 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）
図中の③～⑤は図5のGPS基線③～⑤に対応しています。